

日本ビジネス実務学会第 39 回全国大会

統一テーマ「新時代を展望するビジネス実務」のご案内

(第 1 号通信)

2020 年となり、いよいよオリンピック・パラリンピックイヤーを迎えました。「スポーツには世界と未来を変える力がある」を大会ビジョンにあげ、7 月 24 日から東京オリンピックが、8 月 25 日から東京パラリンピックが開かれます。

振り返ってみますと 56 年前の 1964 年東京オリンピック開催を契機に、東海道新幹線や高速道路などの交通インフラや、国際級のホテルが建設され、これらの大量かつ高速交通機関の予約管理などにコンピューターが導入されました。また、日本最初のオンラインが稼動し、競技データが日本で初めてのデータ通信として届けられ、プレスセンターを通じて、世界中の人々に伝えられたといえます。そして日本はこのオリンピックを契機に、高度経済成長を加速させていきました。56 年を経て、今年行なわれるオリンピックはこの後の日本をどのように導くのでしょうか。

さて、2020 年は仕事や社会を取り巻く環境が大きく変わる年ともいわれております。例えば、2019 年 4 月 1 日から「働き方改革関連法」が順次施行されていますが、2020 年には、中小企業も施行対象になります。時間外労働の上限規制の導入や年次有給休暇の確実な取得、そして、2020 年 4 月 1 日のパートタイム・有期雇用労働法が施行され（中小企業は 2021 年 4 月 1 日より施行）正社員と非正規社員の間不合理な待遇差が禁止されます。その他、個人情報保護法改正も予定されています。

そんな中、1960 年代後半生まれのいわゆるバブル世代や 1970 年代生まれの団塊ジュニア世代が 50 歳代となり、企業においては、役職不足や人件費負担増などの諸問題も顕著になってきました。また、人手不足の問題は「特定技能」による外国人の受け入れまで拡大しており、多文化の人たちとの共生も大きな課題です。まさに、2020 年は社会、教育、雇用、ライフシフト、人生 100 年時代などの様々な変容を包含しています。加えて、持続可能な社会に向けての SDGs の取り組みが、さらに重要視されていきます。

前年の第 38 回全国大会では、関東・東北ブロックの「AI 時代とビジネス実務教育」で、こうした技術革新が今後のビジネス実務にどのような影響を与えるのか、多大な示唆を頂きました。本年は、「新時代を展望するビジネス実務」を統一テーマに、急激な変化の中で、ビジネス実務はどうあるべきなのか、どのように変化していくものなのかなど、幅広く議論をしていきたいと思っております。

前回同様、統一テーマに関わらず、皆様のご研究の成果発表を募集いたします。また、お忙しい中でもご参加いただけますように、1 日目を午後開催といたしました。皆様方の積極的なご参加、ご発表をお待ちいたしております。

2020 年 1 月 15 日

日本ビジネス実務学会
第 39 回全国大会（北海道）
大会実行委員会委員一同

1. 大会日程及び会場

2020年6月13日(土)・14日(日)

■1日目：6月13日(土) 12:30~17:30【会場：北海商科大学】

○ 2020年度総会

○ 基調講演 演題：「北海道コンサドーレ札幌の地域に根差したスポーツビジネス」

講師：斗澤 元希(とざわ もとき)氏

株式会社コンサドーレ 経営管理部 特命担当 グループリーダー

一般社団法人 コンサドーレ北海道スポーツクラブ 運営管理 マネージャー

札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 教授

○ 研究発表/ポスターセッション

○ 懇親会 Hokkaido Buffet Dining KAI(開) (札幌市中央区南3西5 ノルベサ 1F)

※北海道の食を味わうインバウンド(訪日外国人旅客)に特化した予約専門ビュッフェレストランを予定しています。北海道の味覚を思う存分お楽しみいただけます。

■2日目：6月14日(日) 09:30~12:00【会場:1日目と同上】

○ 日本ビジネス実務学会 国際研究会 (in 中国・上海市) 開催報告

○ 教育技法ワークショップ (SDGs)：「ゲーム体験を通して SDGs 教育技法を学ぶ」

講師：丸山宏昌(まるやま こうすけ)氏

SDGs 公認ファシリテーター

札幌大谷大学社会学部地域社会学科 講師

○ 学会奨励賞発表表彰式

2. 参加費

大会参加費	正会員	7,000円 *当日 8,000円
	ビジター	4,000円 *正会員の紹介が必要です。
	学生会員	2,000円
	非会員	8,000円
懇親会参加費		5,000円

参加申し込み、振込方法については第2号通信でご案内いたします。

3. 研究発表申し込みについて

(1) 研究発表の内容と形式

発表内容は、学会趣意書に記載された研究領域等に則しており、理論的、実践的に意義深いものとしません。発表の種類については、次の2つがあります。

A. 口頭発表

従来の発表形式のとおりです。事前に発表要旨を提出し、当日は登壇して発表を行います。
発表時間については、「発表20分プラス質疑応答10分」の計30分を制限時間とします。
発表会場には、ウィンドウズPCとプロジェクタを用意します。

B. ポスター発表

研究・実践内容をポスターにして会場に掲示し、ポスターセッション時間には、来場者に説明を行い、発表者と来場者の直接交流を図ります。事前に発表要旨を提出し、当日にポスターを持ち込み、提示・発表を行います。

(2) 研究発表の申し込みの流れ

□2020年2月7日（金）までに以下の大会 Web サイトからお申込みください。

<https://sites.google.com/view/jsabs2020>

「研究発表をご希望の方へ」のページの、研究発表申し込みフォームに以下の事項を入力してください。

- ①氏名・ふりがな ②所属 ③主発表者と共同発表者全員の氏名・所属
- ④連絡先 E-mail ⑤発表の種類： A. 口頭発表 または B. ポスター発表 ⑥発表テーマ
- ⑦学会奨励賞※ 審査の希望有無（A. 口頭発表のみ）
- ⑧研究領域（学会 Web サイト「ビジネス実務の研究対象領域」から選択）

申込受付後、確認のメールを配信いたします。配信後は、本 Web サイトの入力フォームに発表要旨（400 字程度）を入力することで、受付完了といたします。

なお、この発表要旨は2月21日（金）までにご入力ください。

※「学会奨励賞」について

- ・学会奨励賞の審査を希望する研究発表の中から、学会奨励賞（若干名）を選出します。なお、前年度の学会奨励賞受賞者は、今年度は審査対象となりませんのでご注意ください。学会奨励賞へエントリーされた方は第2日目の学会奨励賞授賞式に必ずご参加ください。
- ・審査基準は、下記の通りです。要旨集原稿で予備審査を行います。
- ・研究テーマが本学会の研究領域に沿ったものであるか
- ・研究発表の内容が充実しているか
- ・他の学会員の研究活性化へ寄与するものであるか

※大会サイトにアクセスできない場合は、以下アドレスにご連絡ください。

アドレス: s-chiba@ts.siu.ac.jp （全国大会実行委員会事務局長 千葉里美）

【ご注意とお願い】

- ※ 口頭発表は、会場の都合上 24 件までとさせていただきます。申し込み多数の場合は、先着順とします。予めご了承ください。
- ※ ポスター発表は、会場の都合上 16 件までとさせていただきます。申し込み多数の場合は、先着順とします。予めご了承ください。
- ※ 口頭発表とポスター発表に、同テーマでお申し込みいただくことはできません。
- ※ お一人で複数の主発表はお受けできません。
- ※ 共同研究者は会員であることが条件です。
- ※ 申し込み後は、発表テーマ等の変更は一切できません。

4. 大会プログラム・発表要旨集原稿の提出について

大会プログラム・発表要旨集原稿締切り：2020年3月31日（火）必着

A. 口頭発表について

大会 Web サイト（研究発表申し込みサイト）に掲載される執筆要領※を参考に4頁以内で作成し、Word のままで、以下のメールアドレスに提出してください。

その際、メールの件名は「要旨集原稿（所属・氏名）」としてください。

提出用メールアドレス：s-chiba@ts.siu.ac.jp

※日本ビジネス実務学会のホームページの「ビジネス実務論集執筆要領」

※英文氏名・所属・タイトルと要旨は省略してください。なお、サブタイトルは省略可です。

B. ポスター発表について

第1号通信の申し込み要領に従い、研究発表申し込みサイトでご提出いただいた400字の要旨を、そのまま『第39回全国大会プログラム・要旨集』に掲載させていただきます。

【ポスター作製上の留意点】

[1]サイズ：A0版縦長（横841mm×縦1189mm）の紙でポスターをご用意いただき、1枚のポスターを貼ってください。大判印刷が難しい場合は、A4版やA3版のものを並べて貼っていただいても結構ですが、2メートル程度離れた場所からでも判別できる文字の大きさにしてください。

[2]内容：題目、著者、所属を記し、共同発表の場合はリーダーに○を記した上で、研究の具体的内容を記載してください。

[3]文字の大きさ：題目は72ポイント程度とし、内容の文字も48ポイント以上のサイズを目安にしてください。

[4]図表・データ：参加者の多くは、当日歩き回りながら、興味が惹かれるポスターを探すものと予想されます。図やグラフを挿入し、参加者の目にとまるような工夫をしてください。

[5]文章：ポスターの前にいつも説明者がいるとは限りません。ポスターだけが掲示されていて、それを参加者が読むという場合もあります。すなわち、口頭発表のように、パワーポイントのスライドと説明で発表者が情報をさまざまに補完できる手法とは異なります。したがって、ポスターを見るだけである程度、内容が分かるような文章・図・グラフでわかりやすいものにするをこころがけてください。

※ポスターの掲示、ポスターセッション時間、ポスターの掲示および撤去については、2号通信でご案内します。

5. 宿泊案内について

宿泊先につきましては、各自お早めにお手配ください。この時期の札幌市内の宿泊は、例年以上に混み合っております。航空機などの予約も早めにご予約ください。

6. 会場までのアクセス

本大会の会場は、両日とも北海商科大学となります。

北海商科大学は、地下鉄東豊線「学園前」4番出口直結です。（札幌駅から約6分）

新千歳空港からは、以下の2つのアクセスが可能です。

- ① JR 快速エアポート(新千歳空港→札幌駅)と地下鉄東豊線(札幌駅→学園前)利用で、約 1 時間です。
 - ② 空港連絡バスは、「札幌都心行き」に乗車頂き、「豊平 3 条 10 丁目」にて下車。(所要 65 分)
下車後は、札幌テレビ塔方面に直進、4 つめの交差点を左折し、豊平小学校のはす向かいにあります。徒歩 10 分程度です。
- ※概ね 10 時半までに新千歳空港に到着できれば大会に間に合うように設定してあります。
- ※JR 北海道の快速エアポートと空港連絡バス(都心行き)は、概ね 15 分間隔で運行しております。



7. 今後の予定

研究発表の申し込み (テーマのみ) *大会サイトの研究発表申し込みページから	2020 年 2 月 7 日 (金) 締め切り
発表 (口頭・ポスター) 要旨 (400 字) の提出 *大会サイトの研究発表申し込みページから	2020 年 2 月 21 日 (金) 締め切り
「大会プログラム・研究発表要旨集」原稿の提出 *発表者がメールで提出	2020 年 3 月 31 日 (火) 締め切り
全国大会第 2 号通信の発送	2020 年 4 月上旬 予定
参加費振り込み (参加申し込み)	2020 年 5 月 15 日 (金) 締め切り

8. 大会 WEB サイト

詳細・参加・発表エントリーについては以下をご覧ください。情報は随時、更新してまいります。

「第 39 回全国大会 web サイト」

<https://sites.google.com/view/jsabs2020>

9. 連絡先

お問い合わせ・ご連絡は、原則として事務局長に E メールにてお願いいたします。

□ 事務局長

〒004-8602 札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1

札幌国際大学 人文学部現代文化学科

千葉 里美(ちば さとみ)

E メール : s-chiba@ts.siu.ac.jp

電話: 011-881-8844(代表)

□ 大会実行委員長

〒062-8607 札幌市豊平区豊平 6 条 6 丁目 10

北海商科大学 商学部観光産業学科

加藤 由紀子(かとう ゆきこ)

E メール: katou@hokkai.ac.jp

電話 011-841-1161 Fax 011-824-0801